

安心・安全で快適に暮らせるまちづくり



【表山学区】

■世帯数：5,799 世帯

■人 口：11,783 人

■面 積：1.182 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

安心・安全で快適に暮らせるまちづくりのために各種事業を実施。延べ参加者は約 2,170 人。実施場所は表山小学校、表山コミュニティセンター、学区内の公園など。

- ・ 17 町内会と 4 ブロックに防災器具庫を設置した。
- ・ 3 か所の避難所に各種の備蓄品を配備した。
- ・ 防災訓練、避難所宿泊等のソフト事業を実施。
- ・ 防犯カメラの設置、街路灯の増設を行った。
- ・ ボランティア養成講座や健康体操教室を開催し、子育て支援活動の活性化を進めた。
- ・ 主要道路に花壇を設置し、住民有志が管理した。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、学区連絡協議会での呼びかけ

【アピールポイント】

初回の「地域委員会」のモデル事業に応募して採択され、予算の裏付けを得て、所期の各事業を達成できたこと。

2 きっかけ、背景

巨大地震等の大災害の発生時にも「死者ゼロ、負傷者極小」にするため、住民の共助による救急体制の整備とともに、避難所の環境改善、住民の防災意識

向上が必要であった。さらに悪質街頭犯罪の撲滅、交通安全の確保並びに福祉・子育て・健康および環境・美化関連の充実に対する住民の要望が強かった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会、老人クラブ、アクティブ表山サポーターズ 計約 40 人

(2) 他団体との協力

天白区役所、消防署、土木事務所、社会福祉協議会など

(3) 運営協力

今後は学区町内会連合会を運営主体として、学区内から広く人材の参画を求めて防災・防犯・福祉・保健・環境等の部会を構成し、積極的に活動する体制を整える。

4 実施のスケジュール

H22 年 3 月 地域委員会 15 回、作業部会 13
～23 年 3 月 回開催



H22 年 7 月 防災器具庫設置、避難所備蓄品配
～24 年 3 月 備 訓練に活用
学区・ブロック・町内会防災訓練
実施



H22 年 11 月 防災講演・講習会 非常食試食会
～24 年 3 月 開催



H23 年 2 月 防犯カメラ設置、防犯講演会開催



H24 年 3 月 花壇設置、維持
～24 年 6 月

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 防災器具庫、避難所備蓄品等を整備できた。
- ・ 住民の防犯意識、連帯感が高まったほか、防犯体制が強化され、安心感が増した。
- ・ 子育て支援活動がさらに活性化した。
- ・ まちの美化が進み、潤いが生まれた。

(2) 苦労した点

- ・ 一連の活動を高く評価する声がある反面、そうでない意見もあったため、繰り返し説明に努め協力を求めた。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 一定の成果を得た諸活動を今後も継続し、レベルアップすることが必要である。そのための人材、資金の確保が重い課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 諸活動の目的、内容等に関する説明を繰り返し行い、住民の理解を深め、学区全体が連帯感を持って活動する気運を醸成することが重要。